

みんなで目指すまちづくり指標の目標値設定について

基本目標	個別目標	まちづくり指標	現状値 (2023)	目標値 (2027)	目標値の設定根拠	担当部局・グループ
手を取り合ってみんなでまちをつくらう		ずっと住み続けたいまちをみんなで一緒につくります	63.9%			総合政策グループ
		高浜市が目指すまちの目標（キャッチフレーズ）を知っている人の割合	36.3%	100%	「知っている」と回答した方の割合 ※高浜市が目指しているまちの将来像くらは、高浜市に暮らすみんなが知っているようにしたい。	総合政策グループ
		最近1年間で高浜市のために活動をしたことがある人の割合	30.0%	60%	「ある」と回答した方の割合 ※まちづくり協議会の活動に関わったことのある割合+10%。結果として現状の値の倍増を目指す。	総合政策グループ
		まちづくり協議会の活動に関わったことがある人の割合	26.6%	50%	「ある」と回答した方の割合 ※2人1人は高浜市のために活動したことがあるようにしたい。現状の値の倍増を目指す。	総合政策グループ
		お互いを理解し、支え合い、誰もが地域の一員として活躍できるまちをつくります	58.6%			総合政策グループ
		高浜市を住みやすいと思う外国人市民の割合	92.7%	90%台を維持	現状値が高い数値となったため、この数値を維持していきたい。	総合政策グループ
		最近1年間で外国籍の方と何か一緒に活動したことがある人の割合	11.5%	25%	「ある」と回答した方の割合 ※現状の値の倍増を目指す。4人に1人は外国籍の方との関わりを持てるような日本人および外国人の風土を育みたい。	総合政策グループ
		市の審議会等の委員となっている外国籍の方の人数	1名	10名	○指標数値については、公職者名簿にて算出 ○現状値：令和4年度公職者名簿より（高浜あおぞら保育園保護者の会 副会長）1名 ○目標値：各年度2名ずつ、5年間で10名を目標値としたい。	総合政策グループ
		時間と場所を選ばない行政サービスを提供します	52.7%			ICT推進グループ
		窓口事務取扱件数（市役所来庁者数）	72,878件	50,000件	今後5年間で電子申請が可能となる行政手続きを対象とし、マイナンバーカードの普及率が70%、そのうち50%程度が電子申請を行うと想定した目標値としています。	ICT推進グループ
		個人情報の保護に関する法律第68条第1項に該当する情報漏洩報告件数	0件	0件		ICT推進グループ
		まちのことを知って、高浜市を応援したいという想いを育みます	74.3%			総合政策グループ
		最近1年間で高浜市のことをSNSで発信や友人に話すなどしたことがある人の割合（%）	16.1%	50%	「ある」と回答した方の割合 ※市民ひとり一人ができることでも本指標の向上に寄与する取り組みを掲げていることから、5年後には2人に1人は発信・自慢したことがあるようにしたい。	総合政策グループ
		市公式ホームページへの年間アクセス件数（件）	912,113件 （令和3年度）	2,500,000件	○指標数値については、グーグルアナリティクスでアクセス件数をカウント ○目標値：2,500,000件 912,113件のうち31.09%が高浜市民（283,588件）、市外68.91%（628,525件）→市民の方がアクセスしやすいという環境を作りみていただくようになっていただき、アクセス数を5倍に、市外のファンを増やしアクセス数を2倍にする。→市民：283,588件×5+市外628,525件×2=2,674,990件≠2,500,000件	総合政策グループ

みんなで目指すまちづくり指標の目標値設定について

基本目標	個別目標	まちづくり指標	現状値 (2023)	目標値 (2027)	目標値の設定根拠	担当部局・グループ
		高浜市へのふるさと応援寄附金額	116,401,000円 (令和3年度)	300,000,000円	○指標数値については寄附実績 ○目標値：300,000,000円 市外のファンを2倍 116,401,000円×2=232,802,000円…① 市民の発信・商品開発による増 100,000,000円…② ①+②≠300,000,000円	総合政策グループ
みんなで学び・高め合い 高浜の未来を育もう	多様な主体が子育て・子育てを支えます		62.8%			こども育成グループ
		待機児童数（幼稚園、保育園、認定こども園、児童クラブ、みどり学園）	0名	0名	利用実績に人口推移を考慮して設定 ・R4.4.1時点で0人。年少人口減少を踏まえて0人を維持。	こども育成グループ
		高浜市 子育て支援ネットワークアクセス数	272,000件	414,000件	利用実績に平均伸び率を考慮して設定 ・コロナ過前のピークとなるR1を基準値として、過去の利用伸び率の平均を乗算。コロナ後の利用の伸びを意識した。	こども育成グループ
		地域子育て支援施設利用者数（地域子育て支援拠点施設、児童センター、放課後居場所事業）	128,000名	154,000名	利用実績に人口推移を考慮して設定 ・コロナ過前のH29利用数を基準として、年少人口の推移を加味した。	こども育成グループ
	自分・仲間・社会の幸せのために学び続ける子どもを育みます		58.6%			学校経営グループ
		「好きな教科がある」児童生徒の割合	88.3%	95%	生きる力を育む質の高い教育活動を通じて、現状値から95%まで増加させる。	学校経営グループ
		「友達と協力した場面があった」児童生徒の割合	89.5%	95%	主体的・対話的で深い学びを充実した学習を通じて、現状値から95%まで増加させる。	学校経営グループ
		「自分には好きなところがある」児童生徒の割合	64.8%	75%	一人ひとりが持ち味を発揮できる教育活動を通じて、現状値から75%まで増加させる。	学校経営グループ
		「将来の夢や目標をもっている」児童生徒の割合	68.5%	75%	キャリア教育を充実させることで、現状値から75%まで増加させる。	学校経営グループ
	学びで人がつながり合いみんなでまちを支える力を育みます		52.6%			文化スポーツグループ
		読書相談件数（件）	177件	215件	図書館機能の移転を契機に、知りたい・行動したいなどの想いを下支えするレファレンス（例：「情報を見つけだす」「調べ方」のお手伝い）を重視し、図書を軸にさまざまな活動が交じりあう効果をいかした運営をめざす。 現状値より美術館・いきいき広場の2カ所あわせて約2割増加を目指す。	文化スポーツグループ
		持っている知識・技能・体験を教えた・伝えたことがある人の割合（%）	35.1%	40%	・第6次総合計画の実績値の推移をみると、現状値より約5%ほど低い「30%」前後であった。 ・第7次総合計画においては、現状値から毎年1.0ポイントずつ上昇させることを目指し、目標値を40%とする。	文化スポーツグループ

みんなで目指すまちづくり指標の目標値設定について

基本目標	個別目標	まちづくり指標	現状値 (2023)	目標値 (2027)	目標値の設定根拠	担当部局・グループ
		高浜市の歴史・伝統・文化に関する企画（行事）に参加したことがある人の割合（年間）（％）	60.6%	70%	・居住年数が多いとまちへの愛着も高いと推測される。 ・居住年数の少ない方々にも参加していただくことを目指し、今回の調査で居住年数0～4年くらいの方々が参加したことを仮定した目標値設定として「70%」とする。 ※個別で0～4年居住者の回答率が図れないため、あくまで換算値とする。	文化スポーツグループ
行きたい 住みたい 住み続けたい 魅力が つな がる まち をつ くろ う	暮らしを支える持続可能な都市を形成します		57.7%			都市政策部
		道路の長寿命化を計画的に実施した割合（幹線道路の舗装）	41.5%	77.9%	舗装路面維持修繕計画書	土木グループ
		公園を利用している人の割合	35.7%	39%	・第6次総合計画では現状値に比べ、目標値を3%上昇させた値で設定している。第7次総合計画も同様に現状値より3%上昇させた39%を目標値と設定する。	土木グループ
		配水管の耐震化率	33.1%	41.1%	耐震化率＝耐震管延長÷総配水管延長 過去5年間の耐震化伸び率 2.0%	上下水道グループ
		無料耐震診断の累計件数	1,108件	1,157件	過去実績および「高浜市建築物耐震改修促進計画」に基づく予測値	都市計画グループ
	地域経済を活性化し、元気なまちをつくります		37.0%			経済環境グループ 都市計画グループ
		高浜市商工会が実施する経営支援件数	2,295件	1,650件	事業者数は後継者不足等により減少傾向のため、令和3年度と同じ目標値としている。（直近数年間は新型コロナウイルス感染症の影響で目標値を超えている状況）	経済環境グループ
		三州瓦屋根工事等奨励補助金交付件数	25件	25件	数年間減少傾向のため、PR等により現状維持を目指す。	経済環境グループ
		コミュニティバスの利用者数	16,072名	20,000名	コロナ禍による利用者激減からの回復を見込んだ目標値	経済環境グループ
	人と地球にやさしいきれいなまちをつくります		58.4%			経済環境グループ
		一人一日当たりの家庭ごみの排出量（g）	846g	800g	高浜市一般廃棄物処理基本計画に基づく目標値	経済環境グループ
		不法投棄の回収量（kg）	9,560kg	8,600kg	過去の実績を勘案して1割減を見込んだ目標値	経済環境グループ
		市の事務事業から排出される温室効果ガスの量（t-CO2）	2,780t-CO2	2,463t-CO2	第3次高浜市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づく目標値	経済環境グループ
	その人らしく安心して生活できる地域共生のまちづくりを進めます		58.4%			福祉部

みんなで目指すまちづくり指標の目標値設定について

基本目標	個別目標	まちづくり指標	現状値 (2023)	目標値 (2027)	目標値の設定根拠	担当部局・グループ
心もからだも元気 毎日を笑顔で暮らそう		いきいき広場が総合相談窓口であることを知っている人の割合	71.8%	80%	第6次総合計画の数値目標を引き続き目標とする。	福祉部
		社会的孤立者への支援協力事業者数	0者	5者	1年間に1事業者の開拓を目指し、5年間で5つの協力事業者とする。	福祉部
		困っている人へ声掛けや手助けを行ったことがある人の割合	74.2%	80%	現状値をもとに80%と設定。	福祉部
		一人ひとりと地域全体の健康づくりを応援します	58.2%			福祉部
		定期健診（検診）を1年以内に受けている人の割合	71.7%	75%	特定健診受診率の全国目標は70%で、現状値で既に超えている。現状値をもとにやや増を見込んで75%とした。	福祉部
		体力や健康の保持増進を目的として身体を動かすことを習慣的に行っている人の割合	58.5%	65%	健康日本21あいち新計画の類似指標を超えた現状値であるため、増え幅を参考に設定した。（10年間で8～10%増）	福祉部
		趣味や余暇活動を目的に、週1回以上 地域に出かけている人の割合	36.7%	40%	現状値をもとに設定した。	福祉部
		防災・防犯の意識が高いまちづくりを目指します	55.8%			防災防犯グループ
		市民が災害時に食糧等を備え、マイ・タイムライン（避難行動計画）を作成している世帯の割合	6.1%	50%	「食糧等を備え、マイ・タイムラインを作成している」の割合 10年後100%を目指し、5年後の2027年は半分の50%を目標値として設定	防災防犯グループ
		人口1,000人あたりの犯罪発生件数	4.8件	4件	施策評価より、直近5ヶ年の数値で最も少ない値が4.8であるため、小数点以下を切り捨てた4.0を設定 （※現状値については、2022年の警察の統計値が確定していないため、2021年の数値を入力）	防災防犯グループ
	人口1,000人あたりの交通事故発生件数	2.5件	2件	施策評価より、直近5ヶ年の数値で最も少ない値が2.5であるため、小数点以下を切り捨てた2.0を設定 （※現状値については、2022年の警察の統計値が確定していないため、2021年の数値を入力）	防災防犯グループ	
総合戦略		いつまでも高浜市に住み続けたいと思っている人の割合	80.3%	80%台を維持	「そう思う」もしくは「どちらかといえばそう思う」と回答した方の割合 ※第6次総合計画（後期）においても80%台を維持してきている。今後も80%台を維持していくことを目標とする。	総合政策グループ
		生産年齢人口（15歳～64歳）が転出超過とならないよう転入・転出の均衡を維持	85人	0以上	生産年齢人口（15歳～64歳）の人口の差異 （令和4年4月1日時点（当該年の4月1日）－令和3年4月1日時点（前年の4月1日） 令和4年4月1日時点 32,486人－令和3年4月1日時点 32,401人＝85人	総合政策グループ